

あさひの日だまり

NO.33

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～校長講話がありました～

今年最後の「挑戦」をお話ししました

金曜日に校長講話の時間をとっていただきました。どんなお話をしようかなと思ったのですが、やっぱり「挑戦」に関してだろうと思いました。しかしこのところちょっと色々あって元気がない自分を自覚していたので、何に挑戦しようか発表する勇気が持てないでいました。そしてとうとう話しの内容を決められないまま当日の朝を迎えました。「校長先生今日の朝は校長講話です」と教頭先生から告げられて腹を据えました。そしておはなしした内容が下のようなお話です。よろしければ目を通していただけたら幸いです。

皆さんおはようございます。いよいよ今年度最後の校長講話になりました。

今年1年間校長先生はいろいろなことに「挑戦」してきました。今日のお話しも今までと同じです。そうです「挑戦」です。

ちょっと話は変わってしまうのですが、校長先生は1月2日の誕生日を持ちまして、いよいよ「 歳」になりまして。さて何歳になったでしょう？そうです60歳となりました。

先生この機会にちょっと調べてみました。人間の平均寿命というものを考えてみたんです。

まず、縄文弥生時代の平均寿命は何歳だったでしょう。なんと15歳です。

さて次です。江戸時代はどのくらいだったでしょう。40歳くらいだったそうですよ。

そして昭和時代になります。太平洋戦争のころ、今のおじいさんやおばあさんの生まれたころはどうだったと思う。そんなに昔ではないんだけどその頃の平均寿命は50歳くらいだったそうです。そう考えると60歳ってけっこうな年齢だよな～って思っちゃうんですね。

今振り返ると本当にあっという間に年をとってしまいました。「歳をとったな～」って考えるとなんだか疲れてきたり、この先のことを考えたりしちあって不安になるので自分の年についてあまり考えないようにしています。

今日のお話しの本題に入りますね。

「60歳になったんだな～」って考えると、自然に「あんまり無理はしない方がいいかな」っていう気持ちが湧き出てくるんですよ。

でもそれじゃあみんなに「失敗を恐れずに挑戦しようぜ！」って言ってきた校長先生が、「年齢を理由に挑戦をやめていいのか？」「結局口だけだ！」ということになりますよね。

そこで考えました。若い頃に挑戦したことの中で一番「こりゃ俺には絶対無理だ」ってあきらめて成功しなかったことにここでまた挑戦してみようと思うんです。「この年齢でそこに挑戦してこそ本当の挑戦だ！」と思うんです。

ある日子どもがまだ小さかった頃「お父さん〇〇を買って」と突然言い出しました。多分友だちが楽しそうにその〇〇を使って遊んでいるのを見て欲しくなったんだろうと思います。二人の子どもを連れてお店へ行きました。そしてその〇〇を買ってきました。

その日から子どもたちはその〇〇で遊び始めました。二人の子どもはやがてそれをマスターし楽しそうに遊んでいましたが、校長先生は全くできるようになりませんでした。「こりゃ絶対無理だ」と思って面倒くさくなってすぐにやめてしまいました。それから30年くらいがたちます。

さてその〇〇とは何でしょう。



そうです一輪車です。みなさんの中で一輪車に乗れる人はいますか。(5年生の山崎先生が手を挙げて下さったので見本を見せていただきました。10年ぶりとのことでしたが5mほど乗る姿を見せて下さいました。その後私も載って見せましたが、全く話になりませんでした。恥ずかしい姿を披露してしまいました)

さあ校長先生の挑戦の始まりです。

始めに言うておきます。もし乗れるようにならなくても許して下さいね。今回は本当に自信がありません。これで校長先生のお話は終わりです。寒い中集まってくれて本当にありがとうございました。

～学校評議員会・あさひ運営委員会がありました～

学校運営の方向にご助言いただきました

毎年この時期に学校評議員会が開かれます。会の目的は2つです。一つめは今年1年間の学校運営の方針がこれによかったかどうかを振り返ってご意見をいただきます。二つめは来年度の方向に関してご意見をいただくということです。会の最初に校長の学校運営に関してお話をさせていただきご意見をいただきました。次に保護者と子どもたちにお願ひした学校評価アンケートを見ていただくとともに子どもたちの授業の様子を参観していただき重ねてご意見をいただきました。

「保護者の意見は確かに大事にしないといけないし真摯に受け止めたい。対応の必要なことに対してはきちんと取り組みたい。と同時に学校の運営方針も間違っていないので自信を持って先生方と協力して子どもたちのために運営をしていってほしい」

「授業の様子を見させていただいて感じたのは、昔は先生が一方的に話をして授業を進めていったけれど、今日の授業の様子を見るといい意味で、ワイワイしながら楽しく学習している様子が見えていいなと感じた。その分先生は大変だと思うけれどとてもよいと思いました」

といったようなお話をいただきました。そして、校長として来年度も今年度の学校運営の方向を継続していきたいというお話をさせていただき「その方向でよいのではないか」とお認めいただきました。

あさひ運営委員の皆様今年1年間本当にありがとうございました。